

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第1区分
 【発行日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【公開番号】特開2013-217281(P2013-217281A)
 【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報2013-058
 【出願番号】特願2012-88480(P2012-88480)
 【国際特許分類】

F 0 4 C 29/02 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 29/02 3 6 1 A

F 0 4 C 29/02 3 1 1 C

F 0 4 C 29/02 3 5 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月11日(2014.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係るロータリー式圧縮機は、底部に潤滑油が貯留された密閉容器と、密閉容器内に設置された電動機部と、密閉容器内の下部に電動機部との間に空間を有して設置され、電動機部の駆動により吸入口からシリンダー内に流入するガス冷媒を圧縮し、圧縮したガス冷媒を主軸の上部軸受及び下部軸受の少なくとも上部軸受の吐出口から当該上部軸受に設置された消音器を介して空間に吐出する圧縮機構部と、空間に傾斜部を有して消音器の周囲を囲むように設けられ、傾斜部によりガス冷媒から潤滑油を分離させて底部に落下させる仕切体とを備えたものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

底部に潤滑油が貯留された密閉容器と、
 前記密閉容器内に設置された電動機部と、

前記密閉容器内の下部に前記電動機部との間に空間を有して設置され、前記電動機部の駆動により吸入口からシリンダー内に流入するガス冷媒を圧縮し、圧縮したガス冷媒を主軸の上部軸受及び下部軸受の少なくとも前記上部軸受の吐出口から当該上部軸受に設置された消音器を介して前記空間に吐出する圧縮機構部と、

前記空間に傾斜部を有して前記消音器の周囲を囲むように設けられ、前記傾斜部により前記ガス冷媒から潤滑油を分離させて前記底部に落下させる仕切体とを備えたことを特徴とするロータリー式圧縮機。